

# 2017年 SPC ホイルワーク 規定

インターバル 1分 → 5分

2017.6.14 改定

## 競技規定

- **ホイルワーク** 理美容室勤務及び理美容室経験者 理美容専門学校生  
セクショニング5分 (インターバル1分 → 5分) ホイリング35分  
フルヘッド67枚以上

※失格事項は、失格 印、その他は、減点とします。

●1人1台のウィッグにて、ホイルワークを行ないます。

失格

●規定時間：セクショニング5分間、インターバル1分後、ホイリングは、35分間のタイムトライアルで競技を行ないます。

●セクショニング：12セクション。ねじピンをメインで使用し、シングルピンは補助でのみ使用可。輪ゴム、ダックカールの使用は不可。

失格

●ホイルパネル数：フルヘッドで67枚以上使用すること。(ベルトも必ず行なうこと)

●ホイル：ミルボンカラスペシャリストホイル(ロールタイプ又はシートタイプ)を使用。(片側の5~8cmを折り返し)

失格

●ベルト：幅10cm×長さ15~20cm(推奨サイズ)のホイルを4つ折にして使用。(短いベルトを使用する場合は、パネルに対して1回転以上巻きつけること)

●ホイル、ベルト共に事前に折り込みやすいように、折り目を付けることは不可。

●使用薬剤：ミルボンリハーサルクリームを水と1：1で使用します(トリートメント剤は使用不可とします)

●ハケ：縦ハケを使用(ミルボンホイルワークブラシを推奨)

失格

●ウィッグ：レディースカットウィッグ337S(337A可)を使用。長さはドライ状態で首の付け根(ウィッグの端)で切りそろえたワンレングス(バンギ無し、ソギ不可、レイヤー不可、カラー不可、ウィッグへの目印などの記載は不可)

●競技のスタート時は、ウィッグをドライ状態にし、センターパートで分けている状態で行なう。

●クランプは机設置型を使用し、スタンド式は不可。またワゴンの使用も不可。

●ウィービング：チップ3mm・ピッチ7mm・チップの深さ3mm

●薬剤塗布は毛先までしっかり行う。毛先がはみ出してしまう場合はハケを活用して、毛先をホイル中間部分で丸め、均一に塗布する。

●ホイリングタイム内に毛先を整え、フェイスラインは髪の毛がウィッグの顔かからないように、パネルのホイルを折り曲げて仕上げる。

失格

●競技終了後は、ウィッグに一切触ることはできません。

## 審査規定

①セクショニング仕上がりの審査をします。(5分間で一度手を止めていただき、審査を行ないます。)

●タイム内に仕上がっていること。

●セクショニングが正しい順番に行なわれていること。

●仕上がった、セクショニングのバランスを良いこと。

●毛束がセクション内に収まり、ねじピンをメインに使用してとめており、ねじピンがホイリングの邪魔になっていないこと。

②ホイリング後、ホイルの貼りあがりの状態で審査します。(洗い流しての仕上がりの審査をありません。)

●パネル数が67枚以上であること。

●ホイルがキレイにたためていること。

●全体のバランスが良いこと。

●根元からホイルが貼られていること。

●カバーリングができていること。

●ホイルの折りたたみが、両サイドのチップギリギリで折られていること。

●ベルトが根元から1周以上、しっかりと巻かれていること。

●ベルトの頭皮に沿わせる部分が、切れ端のない山折り側になっていること。

- チップ 3mm・ピッチ 7mm・深さ 3mm で、▼のかたちに均一に取れていること。
  - 根元～毛先までの薬剤塗布にムラが無いこと。
  - 薬剤がホイルからはみ出していないこと。
  - ブリックワークができていること。
- ※競技規定及び審査規定にそぐわない場合は減点の対象とします。

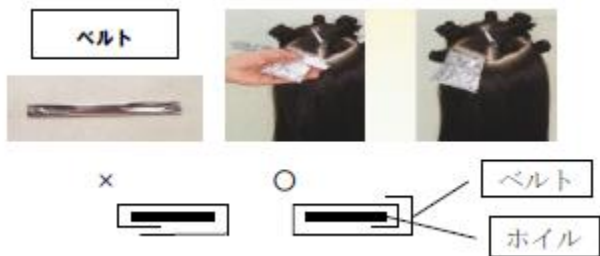
□使用ウィッグのレンジス



□セクションニングの状態

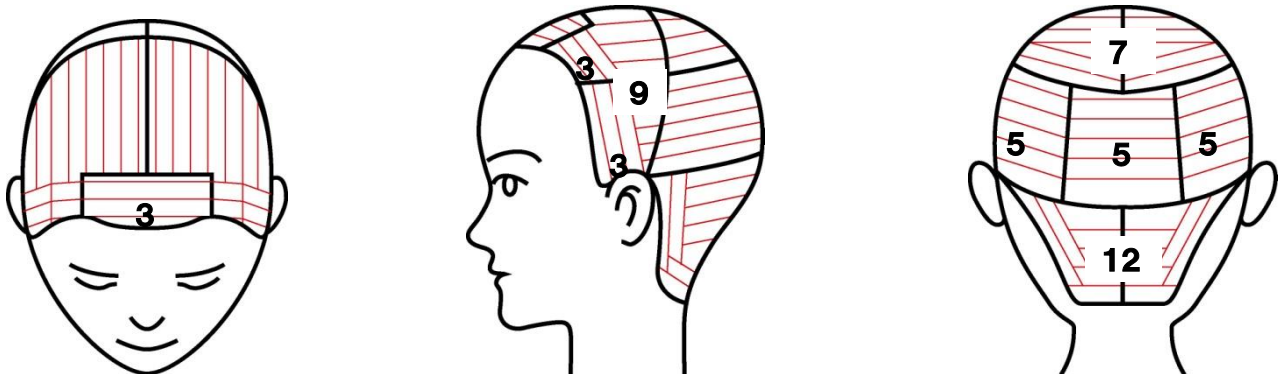


□ベルトについて



□ホイルの入れ方

ウィッグのパネル図に各セクションの枚数を記入



□ホイルワークの仕上がリイメージ

